



# マレーシアプトラ大学



Universiti Putra Malaysia

英語

<http://www.upm.edu.my/?LANG=en>

学生交流締結年月日： 2007年5月18日

学術交流締結年月日： 2007年5月18日

協定上の派遣可能人数： 3名以内

Academic Calender		協定校申請締切※	必要な成績・語学能力スコア
秋学期	9月上旬～1月	4月30日	(参考値) TOEFL PBT 550 iBT 79-80 IELTS 6.0 ※申請時に証明書の添付が必要
春学期	2月上旬～6月	9月30日	

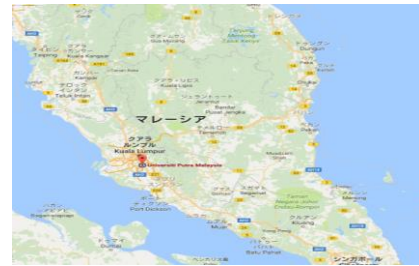
※学内申請締切は協定校締切より早く設定しています。派遣希望者は必ず学内締切を確認してください。

## 概要

マレーシア・プトラ大学は、1931年に農科大学として創設されたマレーシアの総合大学であり、農学、獣医学、医学、工学、教育各分野の教育研究を網羅する高等教育機関として中心的な役割を担っている。

農業系単科大学が前身であるため、首都クアラルンプール南部郊外に広大な敷地を有し、その広さはアジアでも有数である。現在は16学部、学生数3万人、職員数1千人の総合大学で、マレーシア国内はもとより国際的な評価も高い。また、マレーシア・プトラ大学の教育はアジアでは珍しく英語で行われていることから研究者、学生の派遣や受け入れが活発に行われる予定である。

所在地： クアラルンプール近郊、マレーシア



## おすすめコメント

(担当教員より)

マレーシア・プトラ大学は、1931年に農科大学として創設されたマレーシアの総合大学であり、農学、獣医学、医学、工学、教育各分野の教育研究を網羅する高等教育機関として中心的な役割を担っている。農業系単科大学が前身であるため、首都クアラルンプール南部郊外に広大な敷地を有し、その広さはアジアでも有数である。現在は16学部、学生数3万人、職員数1千人の総合大学で、マレーシア国内はもとより国際的な評価も高い。また、マレーシア・プトラ大学の教育はアジアでは珍しく英語で行われていることから研究者、学生の派遣や受け入れが活発に行われる予定である。農学部を中心に毎年活発な交流活動を展開しています。本学の修了生が日本人研究者や学生の受け入れ窓口となっていますので、現地では生活面などさまざまなサポートを受けることができます。英語教育にも力を入れ、多くの授業が英語で行われています。

(先輩・留学生より)

マレーシアは東南アジアの“Melting Pot”と呼ばれていて数多くの民族が生活しています。マレーシア人にはマレー系以外にインド系、中華系の人達がいて、それぞれの文化を肌を感じながら生活できます。非常に親日的な国で、日本人向けの施設も多く見られ、日本料理レストランもあります。大学では、民族ごとのイベントが開催され、多国籍料理を楽しむことができます。英語力に自信がなくても授業の雰囲気をつかんでいけば特別難しいということもありません。物価も安く、欧米に比べお金がかからず、のんびりとした環境で時間に追われることもなく、ローカルの生徒と同じように生活を送ることができ、よい系経験ができるので、ぜひマレーシア留学に挑戦してほしいです。